

独立行政法人海洋研究開発機構 設立記念式典

平成16年4月27日(火)、東京商工会議所の東商ホールにおいて、独立行政法人海洋研究開発機構設立記念式典を開催いたしました。本式典では加藤康宏理事長が、海洋科学技術センター設立以来32年半の歩み、当機構の目的・中期計画の紹介の上、「学術研究機関への協力を強化するとともに、共同研究等を通じて産業界等との連携・協力を積極的に貢献してまいりたい所存です」と新たな決意の挨拶を述べました。続いて、稲葉大和文部科学副大臣、池坊保子文部科学委員会委員長、上杉道世東京大学理事よりご祝辞を戴きました。また、木下肇研究担当理事より当機構の各部署の事業についてご紹介し、一層のご理解とご関心をもって戴きました。

(総務課)



加藤理事長挨拶

JAMSTEC NEWS

淡青丸入港歓迎式典

4月1日をもって東京大学海洋研究所から移管された「淡青丸」が、4月20日に初めて機構専用岸壁に着岸しました。当日は初夏を思わせるような素晴らしい快晴となり、藤田船長をはじめとする乗組員23名へ、加藤理事長より、「お客様ではなく、仲間として迎えることを喜ばしく思います」との歓迎

のご挨拶がありました。また、花束贈呈、船内見学、乗組員の方に対する機構施設見学等も行われ、お互いの懇親を深めた後、22日に相模湾における調査行動に向けて出港いたしました。

(学術研究船運航部)

淡青丸入港式典の様子



JAMSTEC NEWS

海洋研究開発機構 施設一般公開(横浜研究所、横須賀本部)



子供実験教室(横浜)

小学生高学年向けのものも実施し、子供実験教室など親子で楽しんで戴きました。当日は650名の方々の来場があり、公開セミナーは会場にほぼ満席になる程の盛況で、一般の方の海洋地球研究への関心の高さがうかがえました。

5月15日(土)には横須賀本部の施設一般公開が行われ、晴天にもめぐまれ、3,047名の方々

がセンター本部を訪れました。今年は「もっと知りたい海のこと地球のこと」をテーマに、各研究部の研究成果の発表、深海巡航探査機「うらしま」、深海調査研究船「かいらい」および無人探査機「かいこう7000」等の公開、海洋調査船「かいらい」の体験乗船などを行いました。また、今回はじめて、運航を終了した潜水調査船「しんかい2000」実機の船内を体験していただきました。また、水圧実験、小型水中ロボットの潜水操作、クイズによる研究紹介、海のロープワーク講習会など参加型のブースは好評で、来場者の方からは「実物に触れられて楽しかった」「大変勉強になった」「来年も来たい」といった声が寄せられ、盛況のうちに無事終了しました。



海のロープワーク講習会(横須賀)

がセンター本部を訪れました。今年は「もっと知りたい海のこと地球のこと」をテーマに、各研究部の研究成果の発表、深海巡航探査機「うらしま」、深海調査研究船「かいらい」および無人探査機「かいこう7000」等の公開、海洋調査船「かいらい」の体験乗船などを行いました。また、今回はじめて、運航を終了した潜水調査船「しんかい2000」実機の船内を体験していただきました。また、水圧実験、小型水中ロボットの潜水操作、クイズによる研究紹介、海のロープワーク講習会など参加型のブースは好評で、来場者の方からは「実物に触れられて楽しかった」「大変勉強になった」「来年も来たい」といった声が寄せられ、盛況のうちに無事終了しました。



しんかい2000に乗り込む見学者(横須賀)

(普及・広報課)

JAMSTEC
NEWS

モデル統合化領域の

近藤洋輝特任研究員が

平成16年度日本気象協会岡田賞を受賞

地球フロンティア研究システムモデル統合化領域の近藤洋輝特任研究員は、平成16年度日本気象協会岡田賞を受賞されました。日本気象協会岡田記念事業部の規定によると、同賞は、「気象事業功績者および地球物理学に関し、優秀な研究をおこなった者に授与」されるもので、今回は、近藤特任研究員の「WMOやIPCCなど国際的な取り組みにおける中核的な活動により日本の気象業務の国際的な貢献を行った功績」を高く評価されての受賞となりました。

近藤特任研究員は気象庁に入庁後、予報部電子計算室数値予報班を皮切りに、世界

気象機関(WMO)上級科学官、気象研究所気候研究部長などを歴任し、この間、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)及び世界気象機関(WMO)気候委員会の日本政府代表などを務め、2002年12月より地球フロンティア研究システムに参加しています。

今回の受賞について、近藤特任研究員は「研究分野における国際貢献をするには、最先端の研究成果を出すことと、その成果を国際的に正当・適切に反映させることが必要だと思えます。今後もこの、今までは隙間に行なっているような世界をもっと広げてより大きく世界に日本の成果が反映され、できればその中でリーダ

ーシップをとることに少しでもお役に立つようにしたいと思っています。」と話しています。

(地球フロンティア研究システム)



授賞式で挨拶をする近藤洋輝特任研究員

JAMSTEC
NEWS

地球シミュレータが 東京クリエイション大賞を受賞



授賞式後の記念撮影：

下段中央 佐藤地球シミュレータセンター長

3月18日(木)、東京のホテルオークラにて、「東京ファッション協会・日本ファッション協会」共催の「第17回 東京クリエイション大賞」の表彰式が行われ、佐藤哲也地球シミュレータセンター長が、「東京クリエイション大賞技術賞」を受賞しました。「東京クリエイション大賞」は、「時代に衝撃を与えたクリエイションワーク」をキーワードに、文化やファッションから最新テクノロジーまで、幅広い分野で生活文化の向上に貢献した案件を表彰することを目的に、1987年に創設されました。

歴代の受賞者は、ファッションデザイナーの山本寛斎氏、ジャーナリストの山根一真氏から、すばる望遠鏡などまで、多岐にわたっており、今回の地球シミュレータは、世界最高速の演算性能が評価されたことだけでなく、平和的に限定した利用体制、従来は実験・観測の支援研究手段に過ぎなかったシミュレーションを実験・観測と対応、あるいはそれらを先導するものという位置づけまで高めたことが表彰理由となりました。

(地球シミュレータ運用推進課)

第29回シアトル桜祭・日本文化祭に参加

4月16日(金)から18日(日)にかけて、シアトルセンターにて開催された第29回シアトル桜祭・日本文化祭に、今回初めてJAMSTEC Seattle Officeから展示を行いました。

この桜祭は、米国建国200年を記念して1976年日本政府が桜(八重関山)の苗木千本をシアトル市に送りワシントン湖畔のソード公園に植樹されたのを機会に始められました。

それ以降ボランティアのみで構成される実行委員会によって、米国西北部に広く日本文化を紹介することを目的として開催されています。

毎回、日本・日系団体が出店する展示ブースはいろいろな方面から観客を楽しませています。

JAMSTEC Seattle Officeも開設から3年が経過し、この4月には「海洋科学技術センター」から「独立行政法人海洋研究開発機構」となったのを機会に新組織及び日本の海洋・地球研究及び調査についての取り組み方について紹介するために展示を行いました。

展示内容としては、掘削船「ちきゅう」、深海巡航探査機「うらしま」及び「地球シミュレータ」等のパネルの展示、「しんかい6500」による深海調査の様子や「ニュースハイライト2003」によりJAMSTEC全体の活動の様子をビデオで紹介しました。

会場は、3日間を通じて家族連れが多く初めてみる海底の様子や珍しい生物等の映像に足を止めて見ていました。学生のグループも多く、マイクロソフト社の地元ということもあり、「地球シミュレータ」に関して多くの質問がありました。

今回、初めての参加でしたが今後もこのような形でJAMSTECを紹介する機会があれば、積極的に参加したいと思います。

(シアトル駐在員事務所)



JAMSTECブース